

別記様式(第5条関係)

会議録

会議の名称	第18回登米市環境審議会
開催日時	平成31年3月26日(火) 午後2時開会、午後3時25分閉会
開催場所	登米市南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 総括研究員 嶋田哲郎
出席者(委員)の氏名	(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 総括研究員 嶋田哲郎【会長】 登米市環境教育リーダー 高橋由紀子【副会長】 みやぎ登米農業協同組合 代表理事専務 佐野和夫 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀稔 登米市公衆衛生組合連合会 会長 佐々木衛 登米市環境市民会議 会長 佐藤博 宮城県東部保健福祉事務所技術副所長兼環境衛生部長 石川政彦 市民公募 及川由美子 市民公募 佐藤謙一 市民公募 佐々木寛之
欠席者(委員)の氏名	国立大学法人宮城教育大学 教授 齊藤千映美 登米市地域婦人団体連絡協議会 会長 佐藤ヒサ子 登米市食生活改善推進員協議会 会長 佐藤律子 登米ブロック商工会女性部連絡協議会 会長 只野好子 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部長 三浦孝則 登米市立石越小学校教諭 及川俊弘
事務局職員職氏名	市民生活部 部長 佐藤浩 市民生活部 次長 加藤均 市民生活部環境課 課長 浅野之春 市民生活部環境課 課長補佐兼係長 大宮兵治 市民生活部環境課 主幹兼環境政策係長 菅原直樹 市民生活部環境課 生活環境係長 浅井顕裕 市民生活部環境課 環境政策係 主査 金澤直子 市民生活部環境課 環境政策係 主事 菊地純平

<p>議題</p>	<p>【議事】 1 第二次登米市環境基本計画実施計画(中期)の策定について</p> <p>【報告】 1 平成29年度登米市環境報告書について 2 とめ生きもの多様性プランの進捗状況について</p>
<p>会議結果</p>	<p>別添のとおり</p>
<p>会議経過</p>	<p>別添のとおり</p>
<p>会議資料</p>	<p>資料1-1 第二次登米市環境基本計画実施計画(中期)策定の概要等 資料1-2 第二次登米市環境基本計画実施計画新旧対照表 資料1-3 第二次登米市環境基本計画実施計画(中期)(案) 資料2 平成29年度登米市環境報告書 資料3 とめ生きもの多様性プランの平成29年度進捗状況報告書【概要版】</p>

発言者	議題・発言・結果
【1 開会】	
事務局	ただ今より、第18回 登米市環境審議会を開会いたします。
【2 挨拶】	
会長	先日登米市主催の観察会があり、翁倉山に行った。イヌワシの保存のために、森林の整備や、林業振興等、非常に地に足が付いた活動をされており、とても参考になった。本日は、その中で第二次登米市環境基本計画実施計画中期の策定について審議していただく。こちらにも地に足が付いたものにしたいので、皆様方の忌憚のないご意見をいただきたい。
【3 議事】	
会長	<p>それでは議事に入る。</p> <p>はじめに、会議録署名人を2名指名する。</p> <p>佐藤謙一委員と佐々木寛之委員に、会議録署名人をお願いする。</p> <p>それでは「(1)第二次登米市環境基本計画の進捗状況について」を事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	(配布資料1-1・1-2・1-3に基づき説明)
委員	<p>市の施設の4R運動の率先実行について、具体的な取組を提案したい内容がある。1つは、ペーパーレス運動について、他自治体ではタブレット端末を活用してペーパーレスをしていると新聞に掲載された。実際の取組としては、会議等の資料はペーパーを使わずタブレットを使用する。ペーパーレスすることで、労力も減ると思われるので、少しでも考えていただきたい。</p> <p>もう1つは、食品ロスの取組で、日本は非常に食品ロスが多い国であり、仙台市で行っている取組として、家庭や職場で余った食品をフードドライブする形で実施している。家庭で余った食材や冷凍食品、賞味期限が残っているものを受け付け、NPO法人を通して、生活困窮者や支援団体に提供する仕組みである。登米市でも単発でもいいので、このようなフードドライブの取組をしてみてもどうか。</p> <p>公園等の維持管理について、公園等の除草に使用と思われる除草剤について、危険な除草剤がある。強力な除草剤としてランドアップがあり、健康被害があるとされている。日本ではホームセンターなどで販売されているが、下請業者にまかせにせず、ある程度、農薬を何に使っているのか把握していただきたい。</p> <p>一般廃棄物(ごみ)処理施設の整備について、ごみ処理施設の更新で、環境負荷が少なく、循環型社会に寄与する施設として、新クリーンセンターの整備となっているが、具体的はどのような施設になるのか。</p>
事務局	<p>1点目のペーパーレスの取組については、当市では地球温暖化率先実行計画や環境マネジメントシステムの取組として、ペーパーレスの取組やエコに関する取組を実施している。具体には、会議資料を両面印刷や縮小してツインにするなど実施している。また、タブレットについては、議会における議案等の資料を電子化しており、議員がタブレットを使用しているので、庁内でも取組は進んでいる。</p> <p>2点目の食品ロスの削減ですが、市でも食品ロスの推進として、家庭向けにおいては、ごみの収集カレンダーやホームページで賞味期限と消費期限の違い等を、飲食店向けには、30・10(さんまる・いちまる)運動の推進として、食品ロスの削減運動を</p>

	<p>実施している。提案のあったフードドライブの取組については、先進事例を調査して、実施可能かなど検討したいと考える。</p> <p>3点目の除草剤のラウンドアップについての情報提供、参考になった。市においてはアメリカシロヒトリの駆除を行っているが、木に薬剤を散布している。この薬剤は環境にやさしい薬剤を使用して事例もある。除草についても今後、勉強していきたい。</p> <p>4点目の「一般廃棄物処理施設の整備」について、新しい施設の環境負荷の少なさの部分としては、水銀汚染防止法が新しくできて、水銀として入ってくる体温計、温度計、血圧計などがごみとして入ってきた場合に、水銀除去機能を有する新しいバグフィルターを取り付ける。現在のクリーンセンターにも設置しているが、性能の向上として排ガスが抑えられる装置が付くのが一例である。循環型に寄与する施設としては、ごみの焼却熱を利用して、余熱で発電をする。また、粗大ゴミ処理施設では、鉄やアルミの回収にあたり、選別効率の向上や鉄の純度が向上する施設になる。新しい施設については、本年12月の稼動開始を予定しているの見学する機会を設けたい。</p>
委員	<p>除草剤のラウンドアップについて、外国で開発して輸入している薬であり、除草するにはとても効果のある除草剤である。除草剤は農薬であるので、飛散しないようにマスクや手袋を装着して使用しているの、その辺は適正に取り扱う必要がある。これは国の環境基準の中で販売されているものである。</p>
事務局	<p>市の施設で使用する場合については、心配される方々もいるので、その辺は確認し進めて行きたい。</p>
委員	<p>中期計画(案)の通番7「自然と触れる機会の充実」について、登米町の森林公園やセラピー基地の利活用を検討していただきたい。今では羽沢川で小さい子供たちが沢遊びするのは難しいので、森林公園内に小さなビオトープなどを作って、水遊びができるように、一体化とした森林公園やセラピーロード、セラピー基地の活用を提案したい。</p>
委員	<p>下水道の整備促進について、米山が全域で農業集落排水事業を実施している。公共下水道に比べると、農業集落排水が約20年、更新まで時間がある。実際には18年のようである。平筒沼や長沼の湖沼について、農業集落排水や公共下水道の充足率はどれくらいになっているのか。今後、湖沼の水質汚染を防ぐための対策はどうするのか。</p>
事務局	<p>下水道整備状況としては、平成29年度実績になるが、下水道整備率として81.68%となる。</p> <p>平筒沼周辺は、豊里側は公共下水道が入っていない部分もあるので、それは市の合併浄化槽事業で整備することになっている。長沼の周辺についても公共下水道の範囲ではないので合併浄化槽を推進するとしている。</p>
委員	<p>農業系汚染廃棄物の8,000ベクレル未満について、市では牧草の処理はすき込みや土壌還元ということで焼却は考えていないことでよいか。</p>
事務局	<p>焼却は行っていない。</p>
委員	<p>まだまだ田んぼの中に沢山あるが、それはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>8,000ベクレルを超えるものについては、国の責任で処理をすることになっているので、当面はきちんと保管状況を確認しながら保管する。8,000ベクレル未満のものについては、各市町村が処理可能であるので、ある程度低いものから農地還元として行っ</p>

	ている。市としては焼却の考えは持たずに行っている。県内で燃やしているのは、8,000 ベクレル未満のものである。
委員	登米町の羽沢にはクレソンが育成している。森林公園の近くなのでこれを活用した子供たちの環境教育など実施していただきたい。
事務局	担当部署等と連携して進めて行きたい。
委員	県が整備した森林セラピー基地でも、池があり、5月の連休前にミズバショウが咲くのでぜひ足を運んでほしい。
委員	環境教育リーダーの育成とあるが、登録された方を実際どのように活用されているのか。 また、みどりの少年団について、現在、何団体(校)あるのか、どのような活動をしているのか。
事務局	環境教育リーダーの活用方法については、地域や職場での環境のリーダーを育成するもので、市内小学校での環境出前講座の講師としてご活躍していただいている。 みどりの少年団については、市内では3校と記憶している。米山東小、米川小、津山(横山小)で取り組んでおり、市の植樹活動に参加や、米川小ではマイタケを生産して、仙台での物販など事業展開している。
委員	放射性物質の関係で、汚染された稲わらなどを保管しているが、環境基準から値が高かったものが、だんだんと低くなってきているが原因は何か。
事務局	放射能には半減期があり、2011年の震災以降だんだん減ってきているのは、半減期の短いものとしセシウムが、時間がたつにつれて弱まってくる。
委員	シイタケなどの原木、クヌギやナラの広葉樹が宮城県ではまだ使えない。野山に自然に出てくるキノコも食べられない。まだ環境は汚染されている。 どこに放射能があるかという、樹脂の部分にある。皮のところ、中身の部分にはない。それらを検査して原木の販売をしている。
【4 報告】	
会長	続いて、「(1)平成29年度登米市環境報告書について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配布資料2に基づき説明)
委員	イヌワシの生息について、イヌワシの餌が主にウサギなどの小動物であるが、有害鳥獣駆除において鉛弾を使っているので、結果的にその餌の小動物に鉛球が入って、イヌワシの胃の中に入って問題となっている。現在、イヌワシはなかなか見ることができないが、これを復活されるにも、絶滅危惧種を守るためにも対策が必要である。
会長	北海道ではエゾシカを撃つが、エゾシカに鉛弾が入ったものをワシが食べることで鉛中毒になることが多発している。
事務局	鉛弾については、関係部署に情報提供する。

委員	道路でのタヌキなどの死骸処理はどこの業者が行っているのか。
事務局	小動物の死骸などシルバー人材センターで回収しているが、ただ、シカなどはユニツクがないと吊り上げられないので、シルバー人材センターから別な業者に依頼しているものと思われる。
委員	苦情処理件数の悪臭の件数について多い状況である。28年度11件、29年度7件であるが、これはどのような原因なのか。
事務局	悪臭について、多いのは野焼きによる煙の匂いの部分である。工場からの匂いについては発生しておらず、家庭のゴミの野焼きによるものが多い。また、畜産関係の匂いについては、農産園芸畜産課が担当している部分もあり、当課に直接こない場合もある。
委員	この数値には畜産関係は含まれていないのか。
事務局	含まれているのもあるので、担当課と調整して数値の把握に努めたい。
委員	環境保全米の取り組みについて、海外で評価されている。また耕畜連携の部分で、堆肥還元されていることなど、これからも環境保全イコール耕地連携として行っていくので、ご協力、ご助言いただきたい。
副会長	平筒沼の水質について、30年度のCODは平均すると7mg/lくらいで推移している。今年度は極端に悪いときや良いときがなかった。ハスの駆除については試行錯誤しながら取組んでいる。
会長	続いて、「(2)とめ生きもの多様性プランの進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配布資料3に基づき説明)
会長	以上で、本日の議事については終了とする。
【5 閉会】	
副会長	環境基本計画実施計画中期については、前期よりとても分かりやすくまとめている。また、環境報告書やとめ生きものプランの進捗状況についても、年々着実に進んでいる。 これからも環境基本計画実施計画の中期計画に基づき、行政、事業所、団体、個人が一体となって進めていければ、あふれる笑顔、豊かな自然、住みたいまち、とめ、に近づいていけると思う。